



花たば「第12回定期総会」ご案内

清々しい若葉の季節です。今年も定期総会の季節になりました。

作品展開催、東北支援の取組み等、この一年もたくさんの取組みを実施することができました。皆さんの御協力に感謝します。また、支え合いのネットワーク、花たばネットとゴミ出しサポート事業も、社協やケアマネージャーさん達からの要請、問い合わせも増え続け、ボランティアとして登録していただいている会員さんとを繋ぐコーディネート業務は忙しさを増してきています。より充実をめざしてどんなことが出来るのか、暮らしのちょっとした相談、話せる場所が常設できないか等々、課題や希望は次々出てきます。下記の通り第12回総会を開催します。万障お繰り合わせの上ご出席いただきますようご案内します。お互いの知恵を出し合いましょう！

日時 2015年5月24日(日) 午前11時から

場所 ろっこう医療生協灘組合員集会室(コミュニティハウス花たば1階)

議事 2014年度活動報告・決算報告・会計監査報告
2015年度活動方針案・予算案 他

懇親 議事終了後、昼食・懇親会をします。(弁当代1,000円)
10年史配布に合わせ、須見理事長が活動をふり振り返り映像と共に報告します。

■議案書は、花たば通信と共にお送りしています。ご確認ください。

■総会への出欠を、同封の返信はがきでお知らせください。

欠席の場合は、委任状欄に、忘れずご記入ください。

■花たば新年度会費(1,000円)払込票を同封しましたので、納入よろしくお願ひします。

花たば日帰りバスツアー 6月11日(木)

明石天文科学館ホームページから

AKASHI MUNICIPAL PLANETARIUM



アサヒ飲料明石工場見学⇒人丸花壇⇒明石天文科学館

三ツ矢サイダーを作っている工場見学
試飲・シュワシュワ体験?!・ギフトショップ

老舗料理旅館
幕の内で昼食

昭和35年開設
子午線の町で夜空を体感

参加費 6,000円 集合時間 9時 集合場所 ロイヤルホスト西灘店前(車は西向き)

定員 35名 ☆お申込み・お問い合わせは、花たば事務所 ☎801-6780 まで☆

東日本大震災被災者支援について

■花たばでは、2014年の作品展を始めとして、会員の皆さんに東日本大震災被災者支援の寄付を呼び掛けてきました。今年3月その集約をしたところ、目標としていた50万円にのぼる金額に達していました。理事会では、この多額の金額に寄せられた皆さんの意思を有効に生かしていくための方策を相談していましたが、医療生協が継続して支援している岩手県大船渡市に絞り、長期にわたる仮設生活入居者の支援活動に活かしたいと決めました。現地で実際に支援員として活動する方々とお会いし、具体的な相談をしようと考えていたところ、ろっこう医療生協が主催する「旅して応援・被災地ツアー」が3月行われることになり、同行しました。

■ツアー3日目、花たばの参加者は大船渡市で最大規模の仮設住宅「^{ながほら}長洞仮設」を訪ね、大船渡市仮設住宅支援事業コールセンターマネージャーの西風さん、この事業を大船渡市から委託(株式会社ジャパングリエイト)され責任者としてこれまで実務をしてきた内藤さん、そして支援員として活動中の皆さんとお話をしました。長引く仮設暮らしの中で、不安を抱く住民の方々、引きこもりがちになっている男性たち。まだ恒久的な住宅再建が見通せない中、取り残され感が募る住民たちの日々と向き合う支援員さんたちも、何が必要なのか、何ができるのか、その苦悩も膨らんでいました。



マイクロバスで盛岡から沿岸部へ 三陸鉄道の三浦さんが、しっかりガイド お世話になりました。



ツアーの目的の一つは、地元の良い物を地元で購入！ さっそく、早朝の宮古市魚彩市場で



田老地区は高さ10mの防波堤を超え大津波が押し寄せた。堤防で聞く現地ガイド小幡さんの話に胸がつぶれる思い。



田老地区の津波被害を象徴的に示す田老観光ホテル。建物は震災遺構として保存が決まった。

■そんな話し合いの中から花たばから以下のお手伝いを提案しました。

①地元新聞とスポーツ新聞を各1紙、集会所に置いてもらえるよう、花たばが購読料を支援する。

②ふらっと立ち寄っても、コーヒーを飲んで話をしていけるよう、バリスタを置きませんか。バリスタという道具があることで、覗いてもらう、使ってもらう機会を増やしてもらえたら。バリスタを置く場合は、コーヒーの材料費を花たばが支援する。

③あのお揃いのジャンパーを着ている人たちが、支援員さんだ。いつも気にかけてくれる人だと住人の皆さんに一目でわかってもらえるよう、ジャンパーをプレゼントする。
(花たば管理員は女性はピンク、男性はブルーのジャンパーを着ています)

④仮設住宅周辺は、旧市街地から離れた丘陵地でした。夜になると真っ暗です。いざ、という時、光があれば心丈夫です。大型LED非常灯（長時間点灯・夜間作業にも対応）を送る。これは、夏祭りなど夜間のイベントにも十分対応できるので「光」を有効に使ってもらう。

■現場の支援員の皆さん達がとても喜ばれ、4つの提案はいずれも実現に向けて動き始めています。新聞購読は、さっそく4月1日から実施されました。皆さんからお預かりした支援金は、こうして活かされ始めています。



❁長洞仮設住宅集会所にて。待っていただく支援員さんたちと交流、花たばの活動や継続する支援がしたいことをお伝えしました。私たちの4つの提案に、「ほんとうですか！うれしいです」と喜んでいただけました。

花たばネットからお知らせ

有償ボランティア利用料が変更になりました

利用例Aの場合

- 掃除・洗濯・炊事などの家事
- 通院・外出などの介助（車利用可）
- 役所・銀行などへの付き添い
- 買物・薬局行きなどの代行
- 話し相手
- 書類・手続きなどの相談・助言
- 軽作業（家庭内の片付け、電球交換など）

利用料

30分あたり400円
※内300円が支援員への謝金になります。

利用例Bの場合

- エアコン・換気扇の清掃
- ちょっとした大工仕事
- 植木・菜園関係の作業

利用料

1時間あたり1,000円
※内750円が支援員への謝金になります。

■交通費：利用例A・Bいずれの場合も420円（徒歩圏内は不要）。

420円を超える場合は実費が必要です。

■諸費用：実費をいただく場合があります。

■詳細は、コーディネーターにおたずね下さい。

連絡先：花たば事務所 ☎801-6632（平日9:00~17:00）

お茶処花たば*木曜メニュー

*お昼の定食メニューがなかった
木曜日に、新メニュー誕生です。

サンドイッチ 200円

コーヒーや紅茶と
セットどうぞ



うはら暮らしの相談窓口

5月から 第1水曜日午後

花たばネットの紹介を兼ねてうはらハウスに伺います。ふれあいサロンが開催されている時間です。あれこれお話しできますね。



編集後記 「徘徊」何ともストレートなタイトルのドキュメント映画を見てきました。もし自分が認知症になり、長年抑え込んできた（つもり…）我慢の数々が抑えられなくなり、いらだちや不安で徘徊したらという思いは、私たちの年齢になれば一度は思うこと。この映画は大阪に暮らす酒井さん母娘の日々です。87歳の母は昼夜の別なく徘徊し、近所の交番に何度もお世話になっています。鍵をかければドアを蹴ったり叩いたり。疲れるまで歩き回る母も、そのモードが解ければ一緒に居酒屋にもバーにも立ち寄ります。同居当初は疲れ果てた娘さんは「もう笑うしかない、ありのままで行くしかない」と決断。デイサービスの利用、都会だからこそその「そっと」で見守ってくれる、近所の人々。その具合が何とも助かっていると語っています。花たばが目指している**空気感**もこんな感じでしょうか。4月24日で元町映画館の上映は終わりましたが、機会があれば見ていただきたいと思います。(O)